# 内灘町男女共同参画に関する町民意識調査

集計結果報告書 【平成29年11月実施】

平成30年3月

内 灘 町

# 一 目 次 一

■意	周査の概要	要	
1)	調査概要	要	3
2)	集計方法	法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
■意	周査の結果	果	
	回答者の属	<b>《特性》</b>	
問 1	_	性別	4
問 2	2	年齢	4
問3	}	結婚の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
問4	1	子どもの有無 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
問 5	5 (1)	職業	5
問 5	5 (2)	職業	5
【男	男女平等に	こついて】	
間 6	3	男女共同参画に関する用語の認知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
問 7	7	「男は仕事、女は家庭」という考え方についての意識 ・・・・・・・	9
問 8	3	日本の社会における男女の地位の平等性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
間兒	)	「結婚」に関しての考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
問 1	0	家庭での仕事の役割分担・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
問 1	1	女性にとって重要だと思う事柄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
問 1	2	男性にとって重要だと思う事柄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
【爿	也域社会で	での活動について】	
問 1	3	地域活動での男女の平等性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
問 1	4	女性の進出に必要なこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
【京	<b>光労につい</b>		
問 1	5	「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」についての希望と現状・・・	20
問 1	6	仕事と家庭の両立のために必要なこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
問 1	7	職場での男女の平等性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
[]	、権につい	って】	
問 1	8	ドメスティック・バイオレンスの経験・認知度 ・・・・・・・・・	27
問 1	9	ドメスティック・バイオレンスの相談機関の認知度 ・・・・・・・	28
間 2	2 0	人権を侵害する行為に対しての重要な取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
【身	]女共同参	*画社会の実現について】	
間 2	2 1	男女共同参画社会の実現のために必要なこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
問 2	2 2	男女共同参画社会の実現のために行政が力を入れるべきこと・・・・・	33
	この他】		
問 2	2.3	その他ご意見、ご要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37

# ■調査の概要

### 1)調查概要

・実施日:平成29年11月13日(月)~11月27日(月)までの15日間

・方 法:郵送による配布回収

・対象者:内灘町在住の20歳以上の男女1,000名を無作為に抽出

・回収数:375票 ・回収率:37.6%

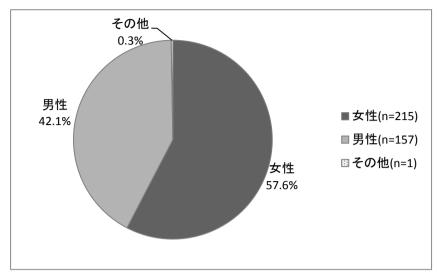
#### 2) 集計方法

- ・各質問の集計は無回答を除いて小計し、これを母数(100%)として各選択項目の回答数の割合を示す。
- ・パーセンテージについては、小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ず しも100%には一致しない。
- ・また、問21及び22の「性別・年齢別」各表においては、小数点第1位を四捨五入している。
- ・複数回答の質問は、1項目以上選択した回答者数を母数(100%)としているため、各選択項目の回答数の割合は、合計すると100%を超える。
- ・性の多様性の観点から、性別選択の問いでは、「女性」・「男性」・「その他」の回答を 設けており、未回答を除いては各集計に反映している。
- ・その他ご意見においては、ご協力いただいた住民全ての回答を掲載。

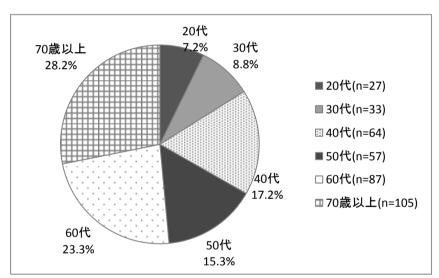
# ■調査の結果

# 【回答者の属性】

問1 あなたの性別は。 (回答数=375)

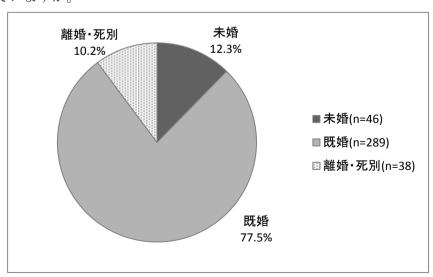


問2 あなたの年齢は。 (回答数=373)



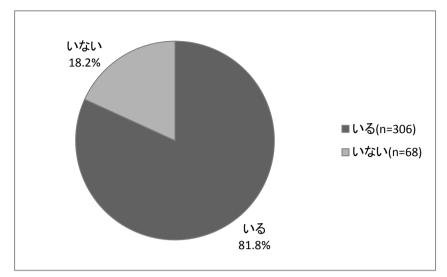
問3 あなたは結婚していますか。

(回答数=373)



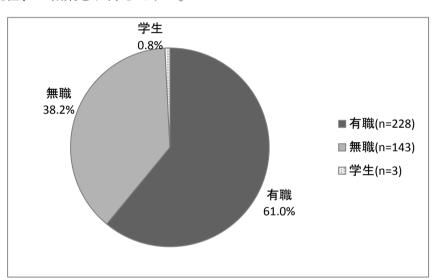
# 間4 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。

(回答数=374)



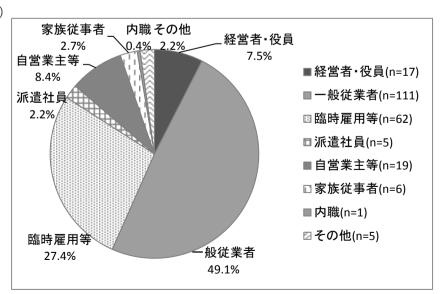
問5(1) あなたは現在、ご職業をお持ちですか。

(回答数=374)



問5(2) あなたの主たる職業は何ですか。(出産・育児休業中などの人も含む)

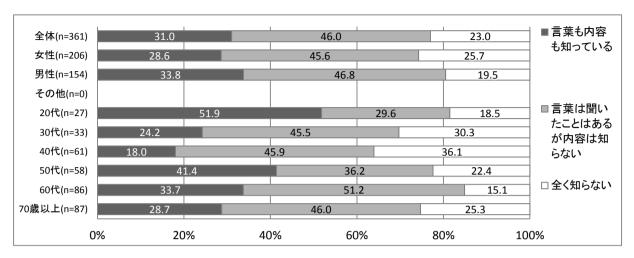
(○はひとつ) (回答数=226)



### 問6 あなたは次にあげる言葉について知っていますか。(A~Kそれぞれ番号1つ)

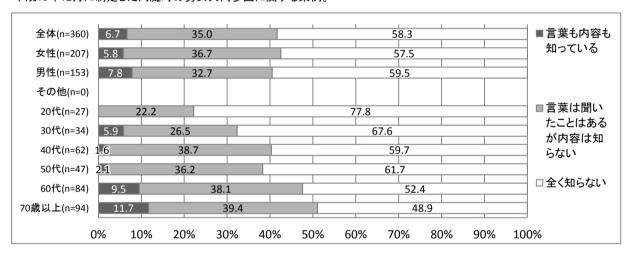
#### A: 男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、 もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。



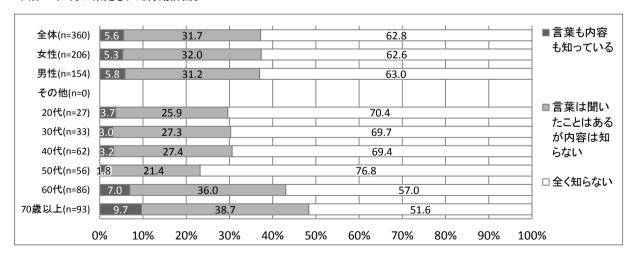
# B:内灘町男女共同参画まちづくり条例

平成19年12月に制定した内灘町の男女共同参画に関する条例。



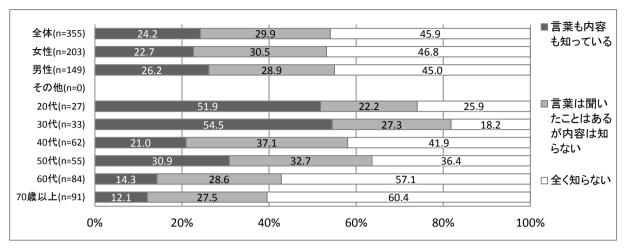
#### C:内灘町男女共同参画推進行動計画

平成19年3月に策定された行動計画。



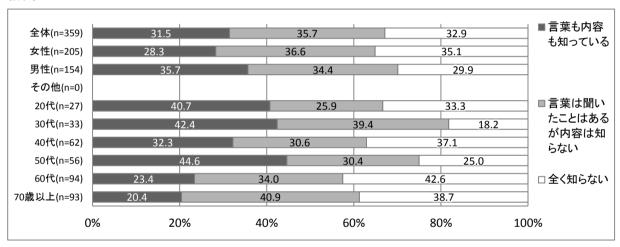
# D:ジェンダー(社会的・文化的に作られた性別)

社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的性別」(ジェンダー/ gender)といいます。「社会的性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。



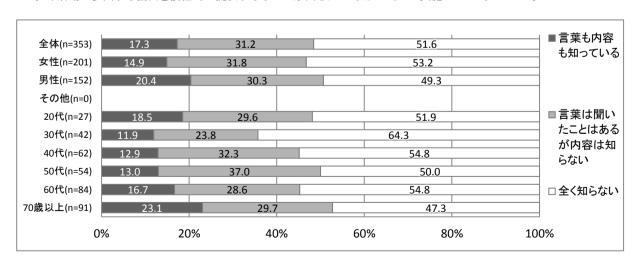
#### E:ワーク ライフ バランス(仕事と生活の調和)

「仕事と生活の調和」と訳され、「 国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、 家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指す。



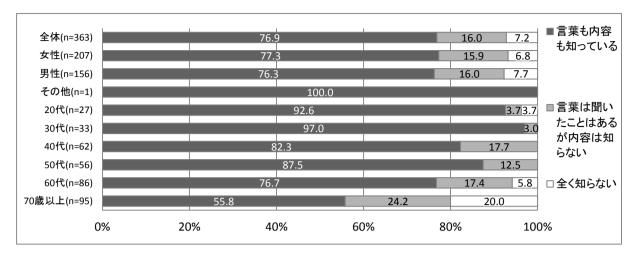
#### F:ポジティブ アクション (積極的改善措置)

様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくもののこと。

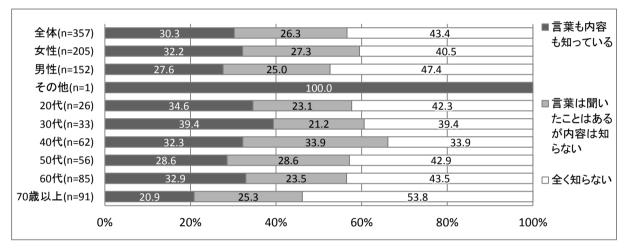


# G:ドメスティック バイオレンス (DV)

明確な定義はないが、日本では「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」のことを指す。

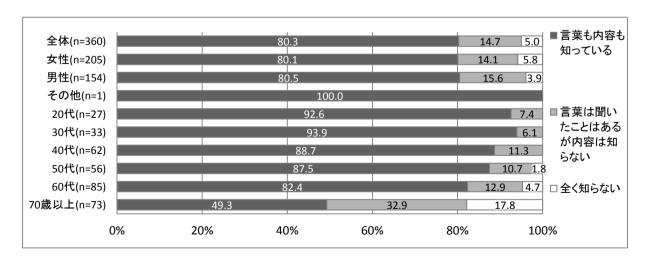


H:デートDV 交際相手暴力(デートDV)とは、結婚前の恋人間の暴力のこと。



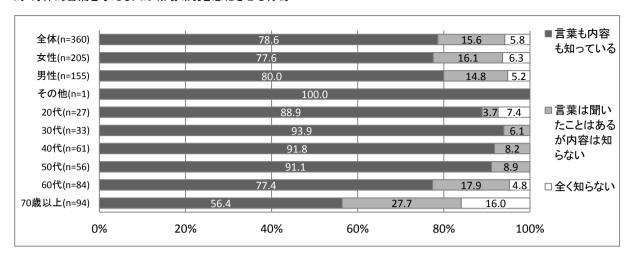
#### I:セクシュアル ハラスメント

「人事院規則10-10」では、セクシュアル・ハラスメントを「他の者を不快にさせる職場における性的な言動及び職員が他の職員を不快にさせる職場外における性的な言動」と定義。



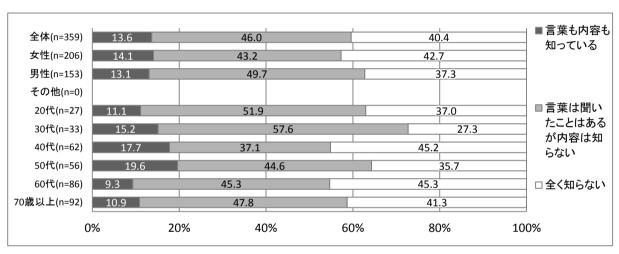
# I:パワー ハラスメント

同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内での優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為

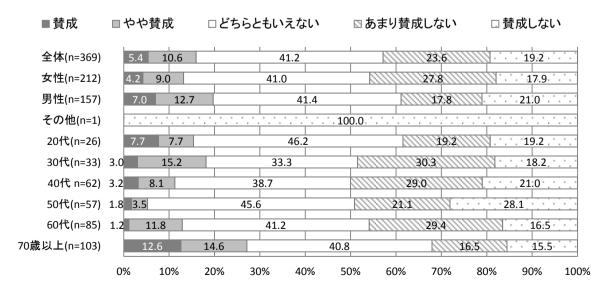


#### K:女性活躍推進法

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の略称。女性が、職業生活において、個性と能力を十分に発揮して活躍できる環境を整備するために制定された法律。平成27年(2015)施行。

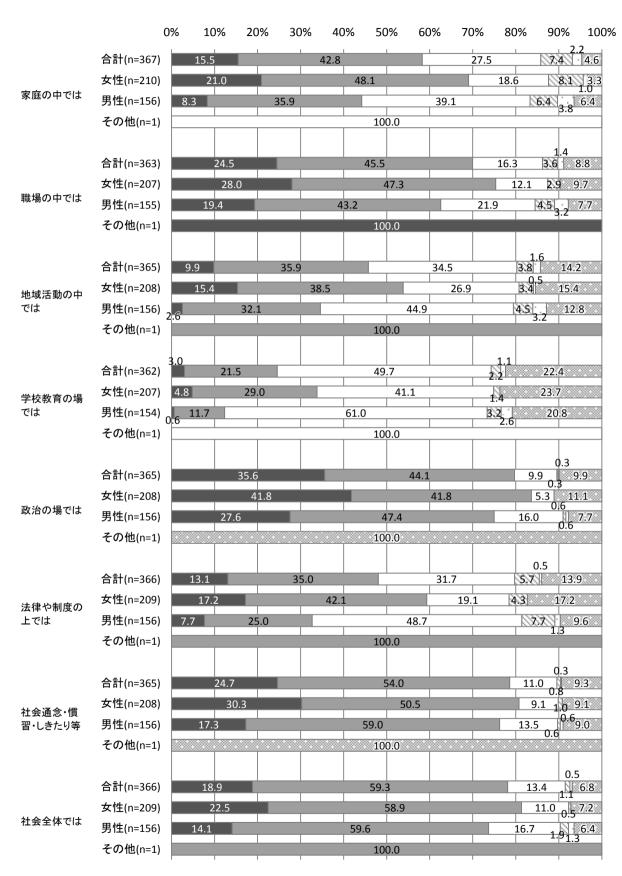


# 問7 「男は仕事、女は家庭」という考え方について(1つに〇)

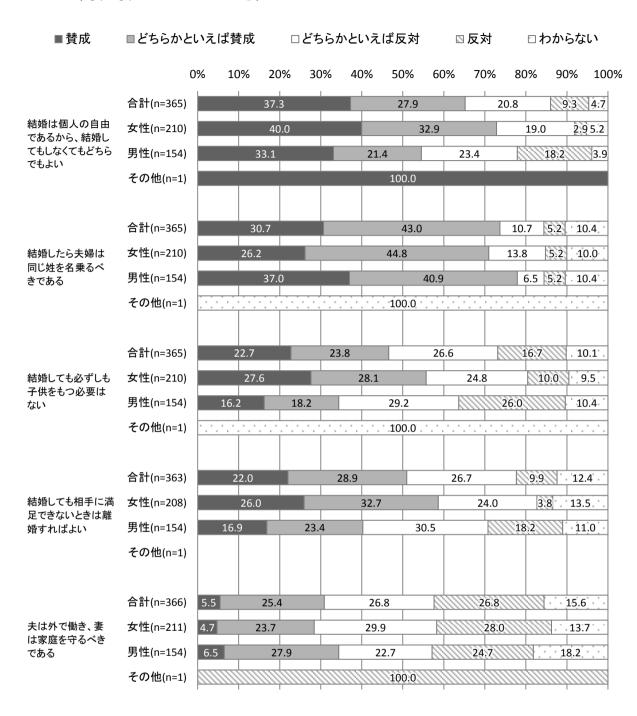


問8 現在の日本の社会において、次にあげる分野で男女の地位は平等になっている と思いますか。(それぞれについて1つに○)

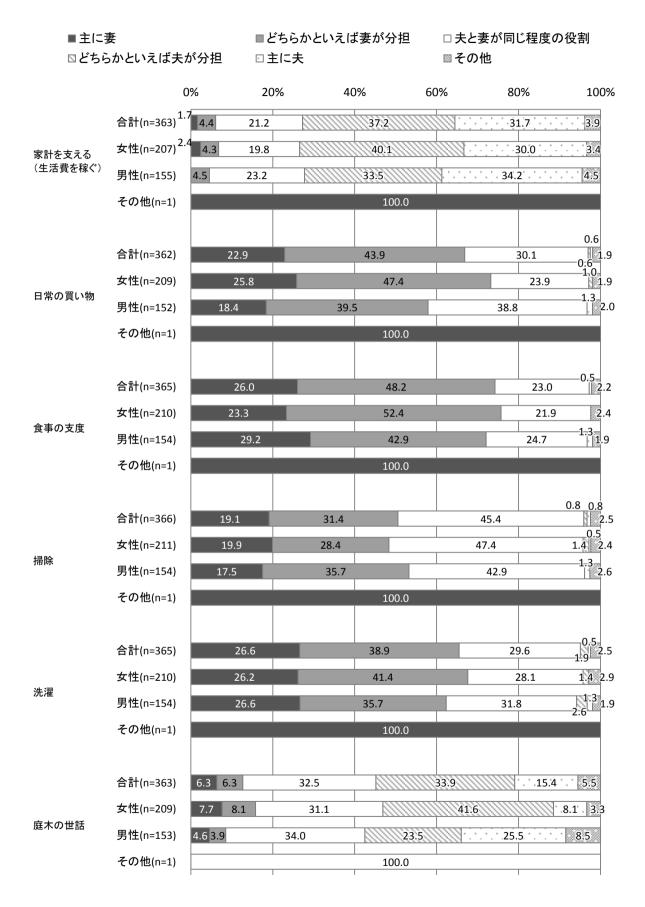


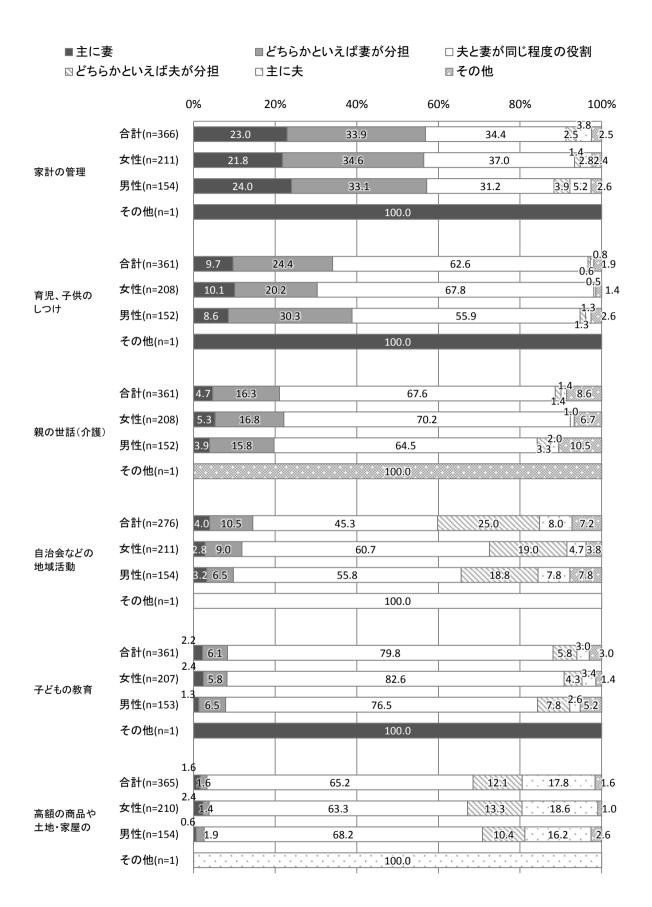


問9 「結婚」に関しての考え方について、あなたの考えに近いものはどれですか。 (それぞれについて1つに $\bigcirc$ )



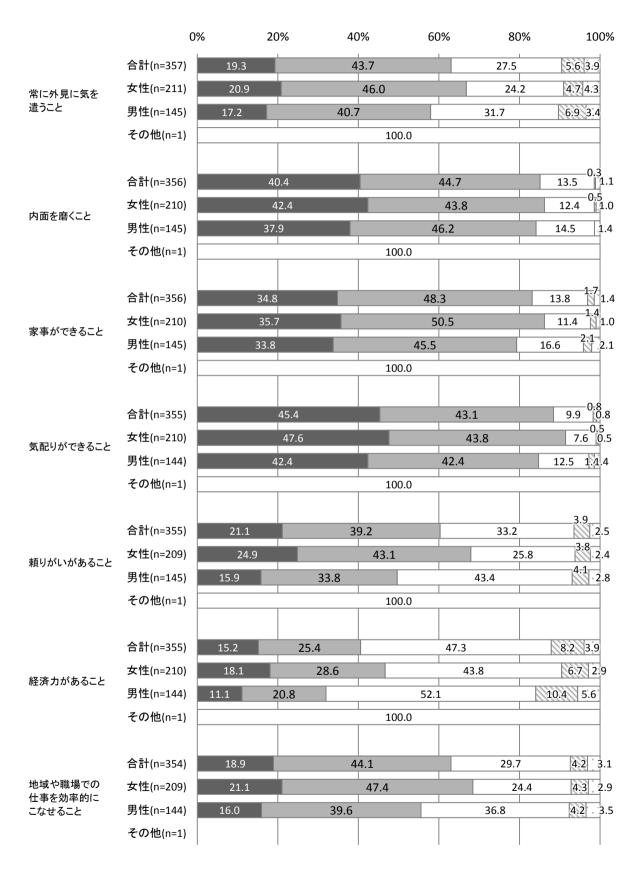
問10 次にあげる家庭の仕事は、だれの役割だと思いますか。 (それぞれについて考えに近いもの1つに○)





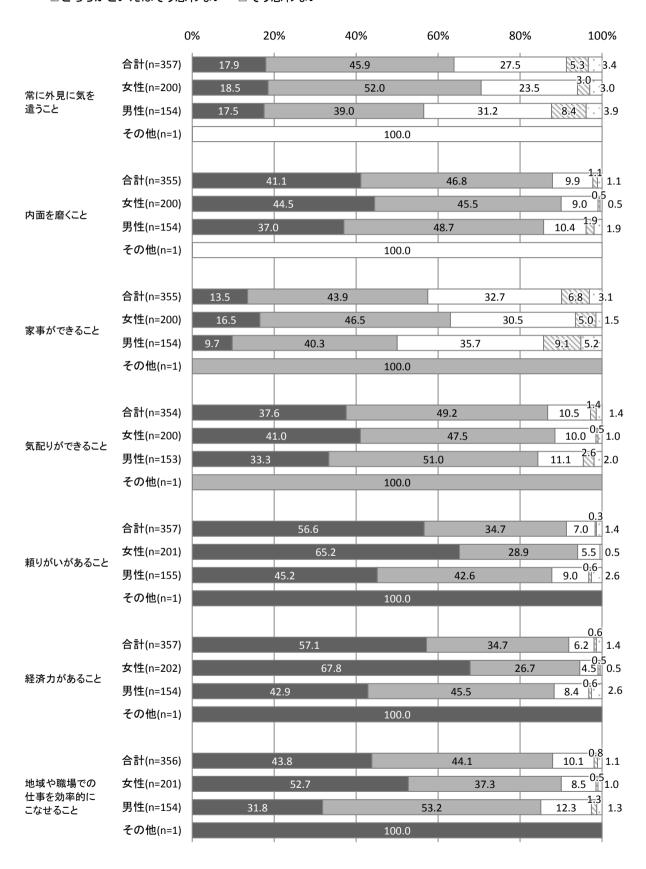
問11 女性にとって重要なこと(それぞれについて1つに○)

■ そう思う 
■ どちらかといえばそう思う 
□ どちらともいえない 
□ どちらかといえばそう思わない 
□ そう思わない

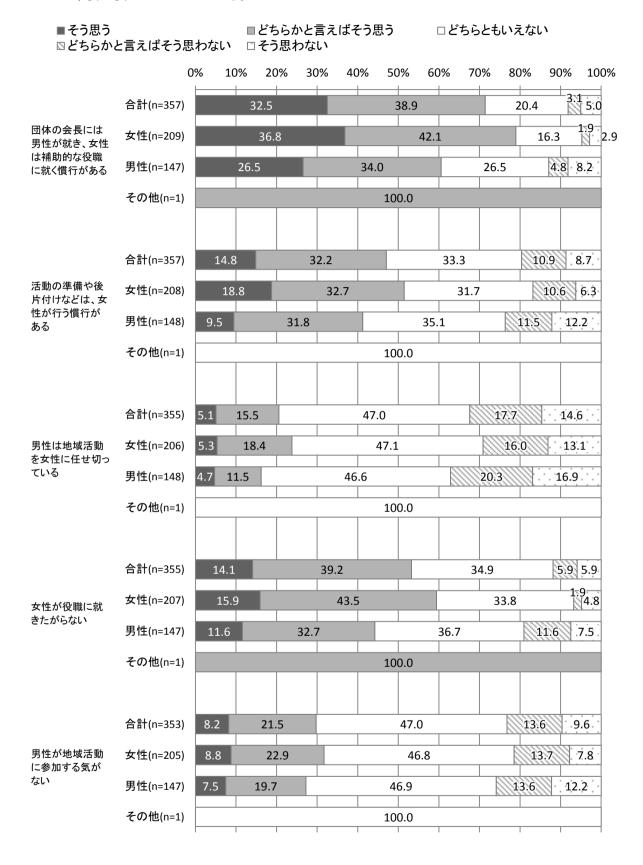


# 問12 男性にとって重要なこと(それぞれについて1つに○)

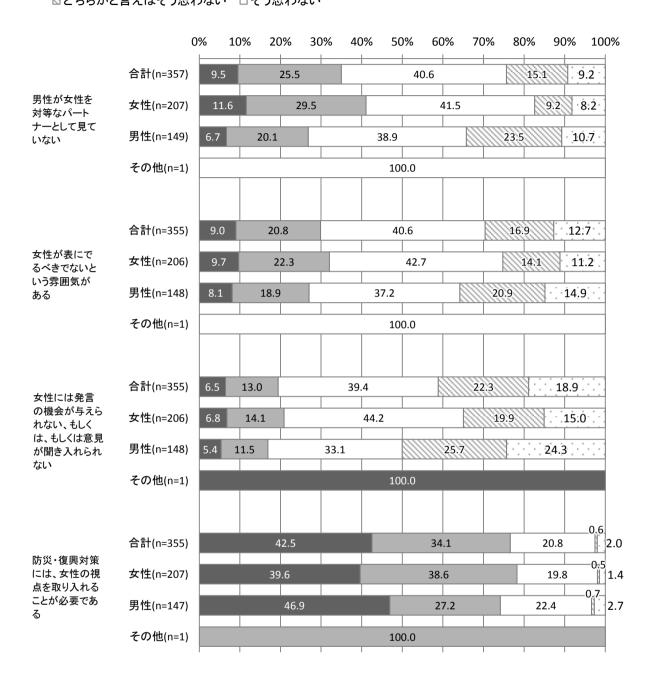
■ そう思う 
■ どちらかといえばそう思う 
□ どちらともいえない 
□ どちらかといえばそう思わない 
□ そう思わない



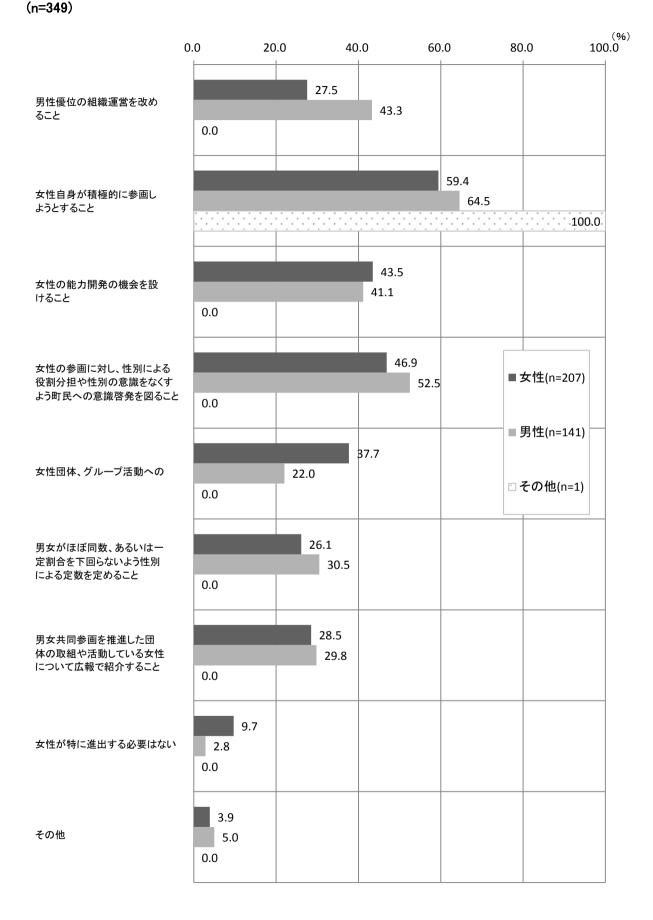
問13 地域活動の中で、下記にあげるものについてあなたはどう思いますか。 (それぞれについて1つに○)



#### 



問14 町政や地域活動(防災・復興活動を含む)などでの政策・方針決定の場において、 女性が進出していくために何が必要だと思いますか。(主なもの3つに○)



- ・性別職業に関係なく誰でも活動しやすい仕事内容にするとよい。(会合の時間、行事の負担)
- ・進学率も高く、男性と肩を並べるキャリアウーマンも多いので、質素倹約だけでなくきっかけを与える。
- ・女性自身が企画能力を磨く必要がある。
- 男性が家事を行う。
- 女性会のような女性だけを集める組織(団体)の必要性をあまり感じない。
- ・女性自身が積極的に参画できるように環境を整えること。どうしても育児・介護・家事などはたらく時間が決められていない仕事役割を担っている人が多いと思うので参加できる時間を作れるしくみが必要。
- ・女性の時間の余裕を与えること。やる気はあっても結局は家事育児に追われて参加できない。
- 会合の日時に融通を持たせて参加しやすい場を設ける。
- ・男女問わずやれる方が能力を発揮されたらいい。
- ・この問そのものが男女を差別しているのでは?一町民であり、一区民なのですから、活動参加時に男女の区別は必要でしょうか?
- ・環境、やる気、能力個人差に配慮し無理強いをしない方が参加しやすいと思う。
- 現時点で特に障害はないと思う。
- ・若い世代において女性の進出にマイナスのイメージを持っている人は少ないのでは?比較的高齢な世代において、女性参画に否定的な意見が多いと思う。わざわざ女性参画を広報しなくても将来的には問題ない。
- こういうアンケートをしなければならない状態を作らない。

問15 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」について、あなたの希望と現状を教え 下さい。(※就職者の方対象 あてはまるもの1つに〇)

# 【 現状(現実) 】

■「仕事」を優先

■「家庭生活」を優先

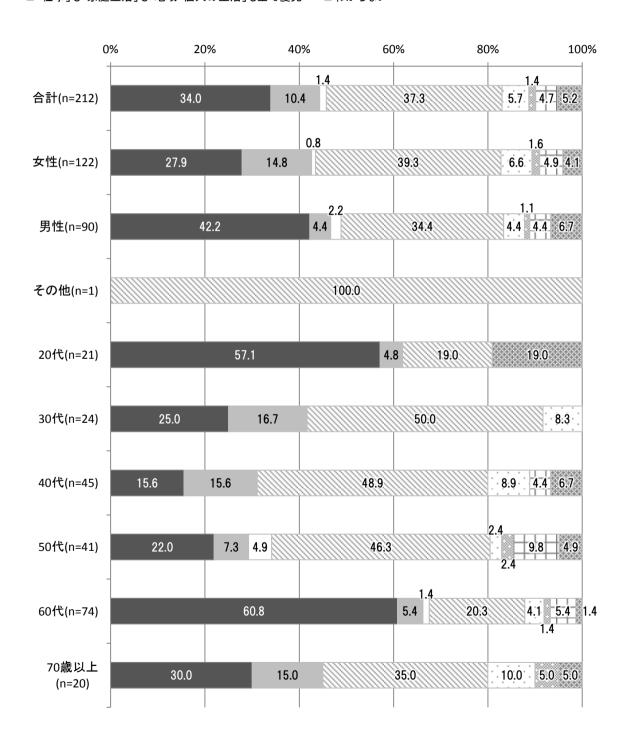
□「地域・個人の生活」を優先

□「仕事」と「家庭生活」を共に優先

□「仕事」と「地域・個人の生活」を共に優先

図「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先

□「仕事」も「家庭生活」も「地域・個人の生活」も全て優先 ■わからない



# 【希望】

■「仕事」を優先

■「家庭生活」を優先

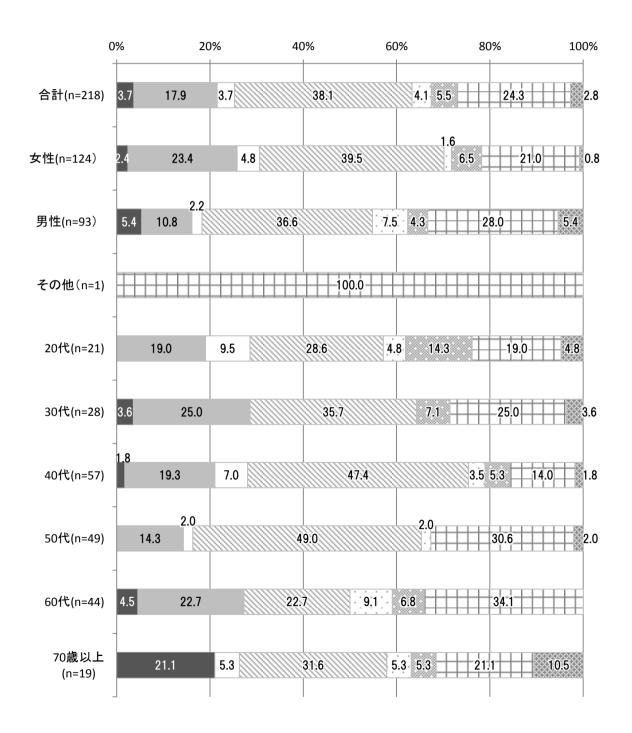
□「地域・個人の生活」を優先

図「仕事」と「家庭生活」を共に優先

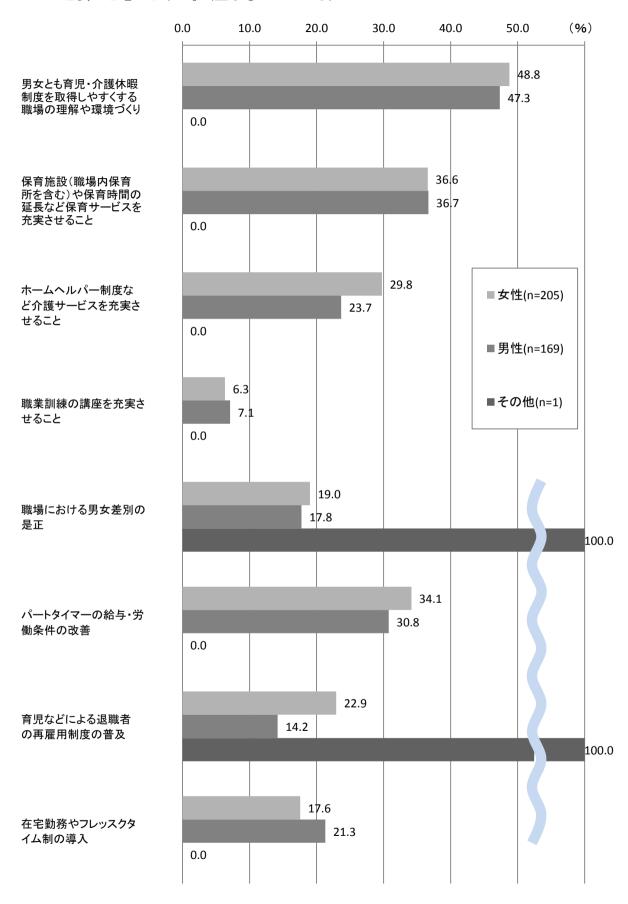
□「仕事」と「地域・個人の生活」を共に優先

図「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先

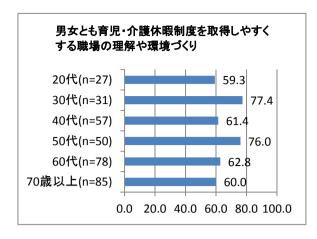
□「仕事」も「家庭生活」も「地域・個人の生活」も全て優先 ■わからない

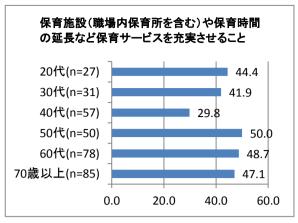


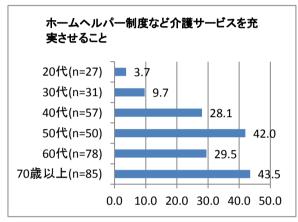
問16 男性も女性も共に仕事と家庭の両立をしていくためには、今後どのようなことが 必要だと思いますか。(主なもの3つに○)

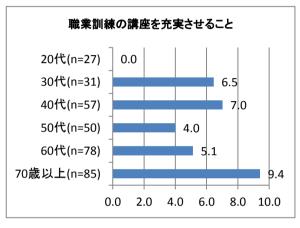


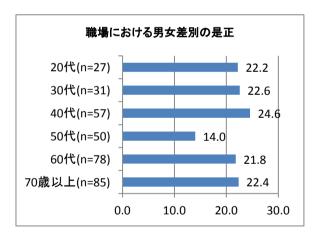
# 【 問16 年代別割合 】

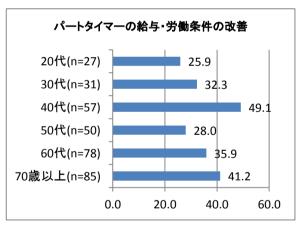


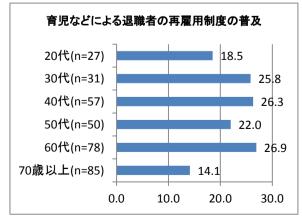


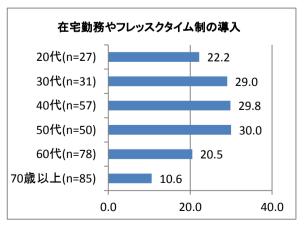


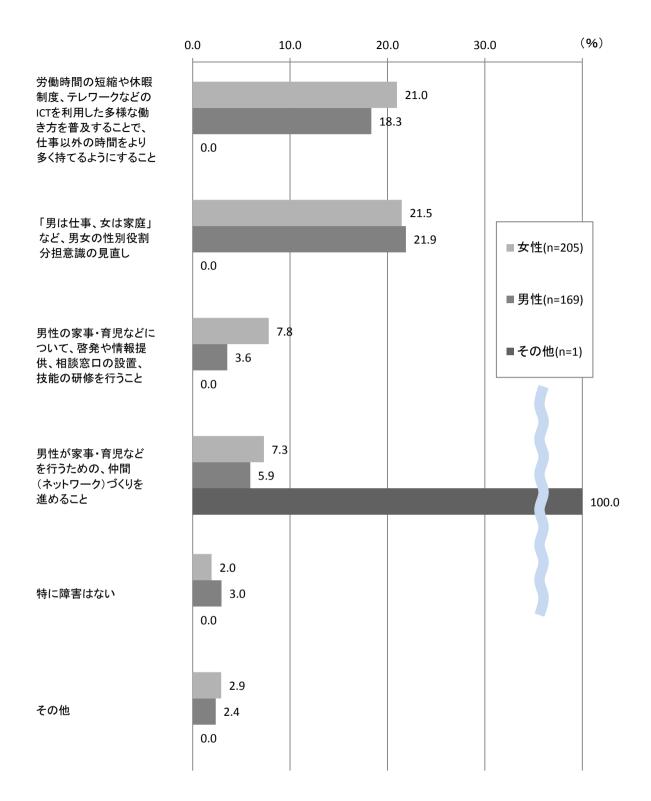




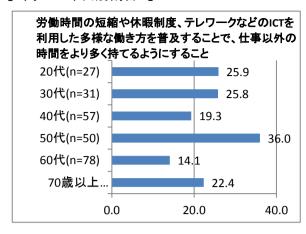


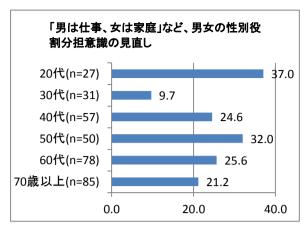


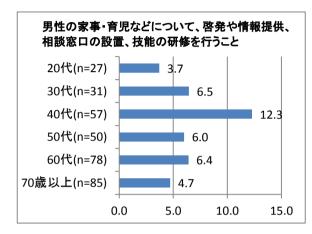


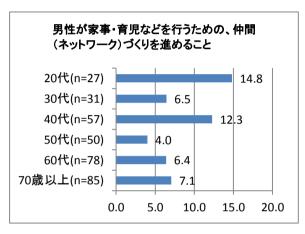


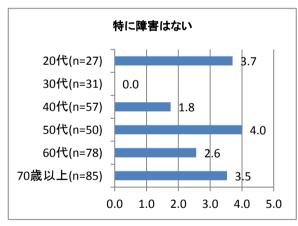
#### 【 問16 年代別割合 】

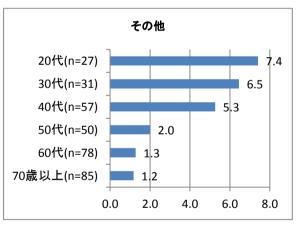








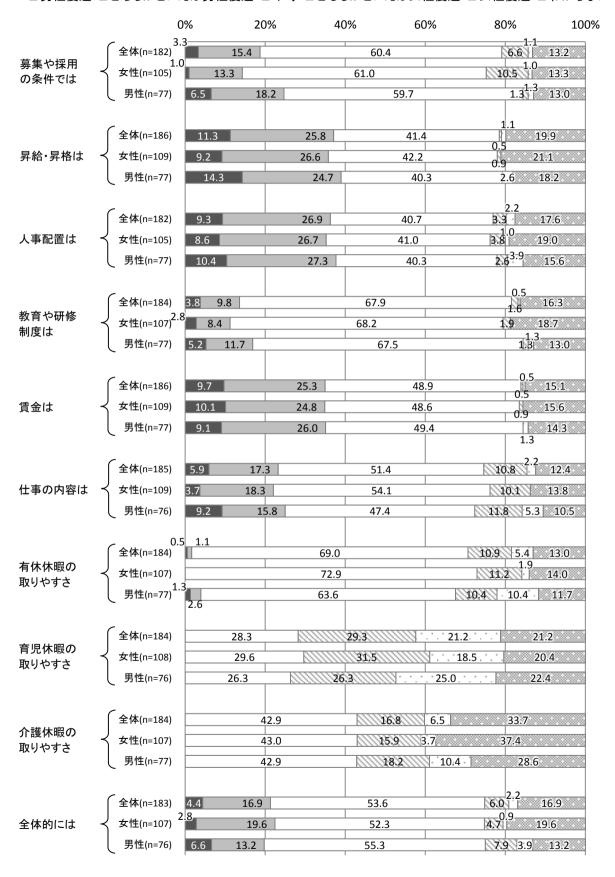




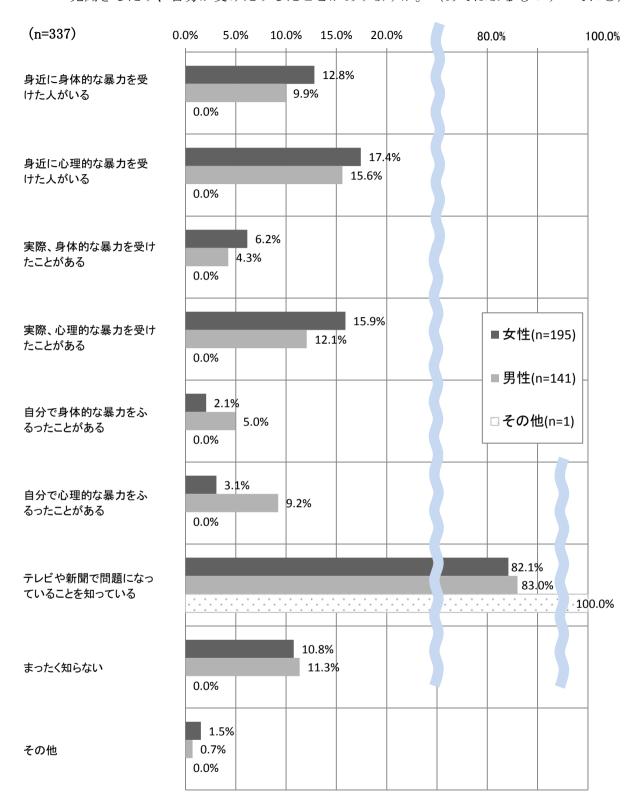
- 意識的なものを見直すことは難しい。あくまでも見直せるのは制度だけ。
- 子どものころから差別なく教える。例えば男の子にも料理を教える。
- 男女共に収入をあげる。
- 男性にしかできないこと、女性にしかできないことを分担。外側を固める前に職場での立場を考慮すべきである。休みやすい環境づくりなど、仕事の内容に応じた一人一人の要望をまとめてください。
- 男性の残業を減らし、女性中心になりがちな家事育児の軽減を図る。
- 長く働く(残業含め)がよしとする風潮を改めること。サービス残業では営業時間短縮も含め、過剰なサービスを減らし、便利なことを当たり前に思わず、不便なことを当たり前と思う意識の変化が必要。
- 非正規雇用を減らす。
- 保育、介護料減額、シルバー人材雇用促進。

問17 【現在雇われている人】 あなたの職場では、次にあげるそれぞれの場面で男女平等になっていると思いますか。(それぞれについて1つに○)※その他は未回答の為掲載なし。

■男性優遇 ■どちらかといえば男性優遇 □平等 □どちらかといえば女性優遇 □女性優遇 ∞わからない

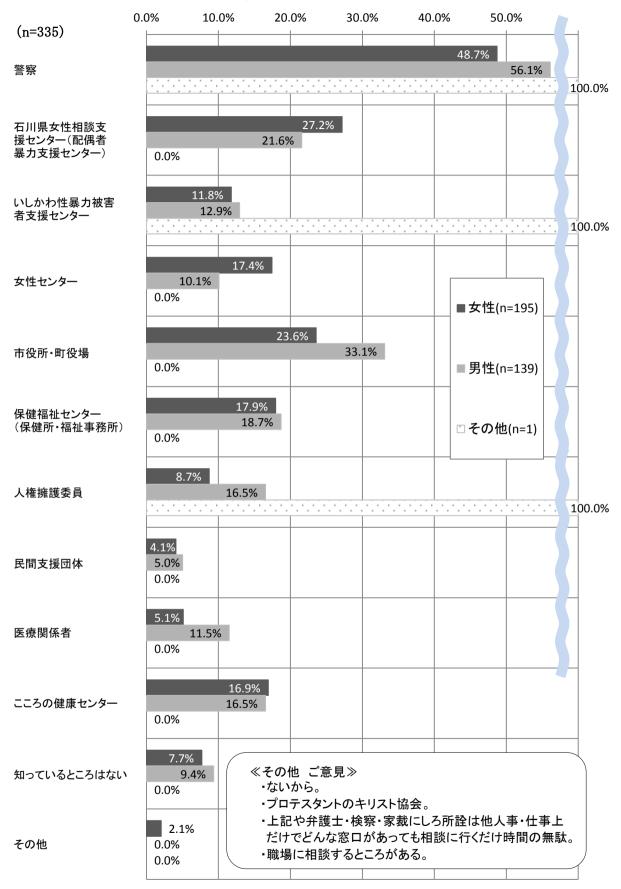


問18 パートナーの間で、身体的・心理的な暴力を受けるDVについて、あなたは身近で 見聞きしたり、自分が受けたりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

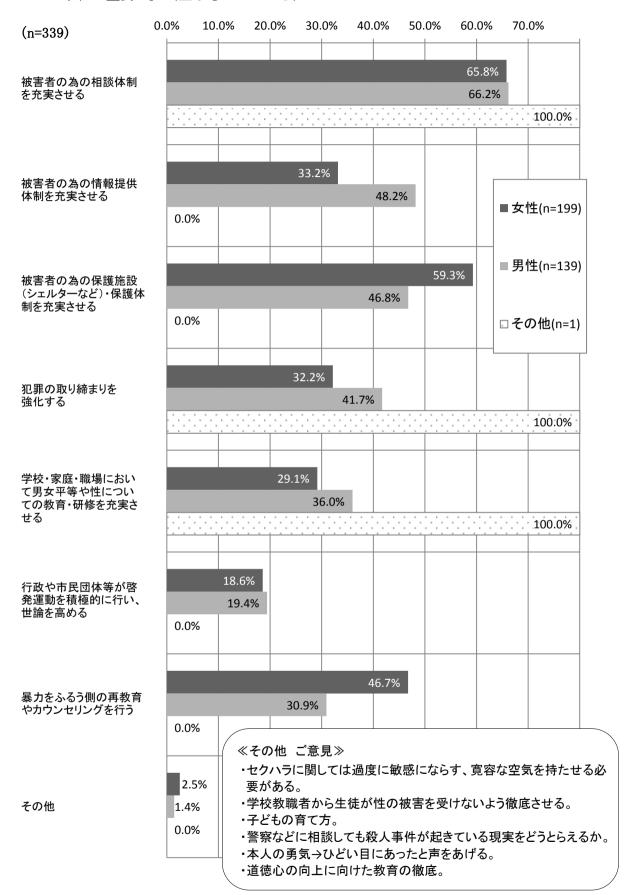


- ・以前働いていた会社(県外)にいた。
- ・もし言葉で相手を傷つけてDVと言われるのなら、何も言えない。
- ・心理的暴力とまではいかないが、時々暴言を吐くのを聞きました。

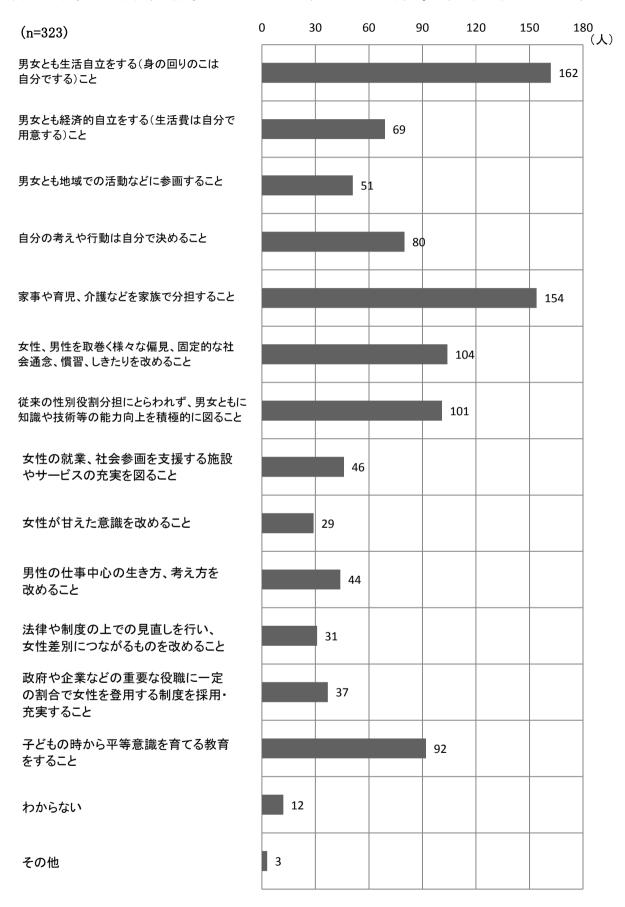
問19 パートナーの間で、相手から暴力を受けた時に相談できる機関や関係者のうちあなたが 知っているものはどれですか。(知っているものすべてに○)



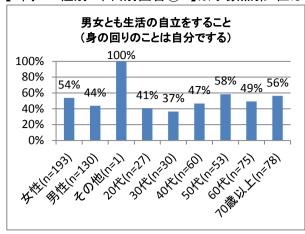
問20 セクシャル・ハラスメントやDVなど人権を侵害するような行為に対してどのような 取組が重要か。(主なもの3つに $\bigcirc$ )

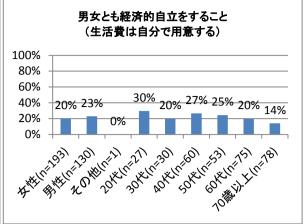


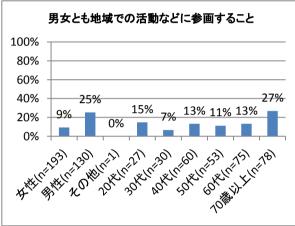
問21 男女共同参画社会実現のためにどのようなことが必要か。 (おもなもの3つに○)

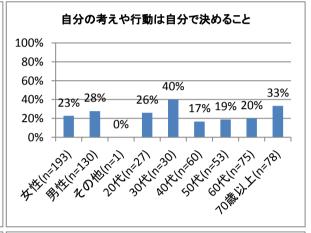


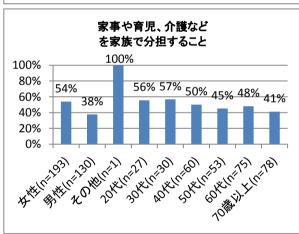
#### 【 問21 性別・年代別回答① 】※小数点第1位は四捨五入

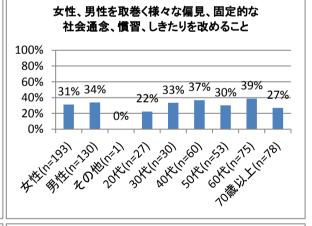


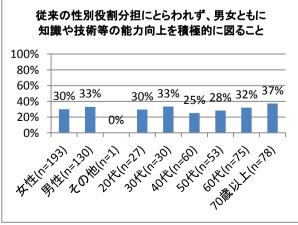


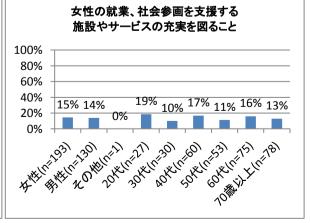






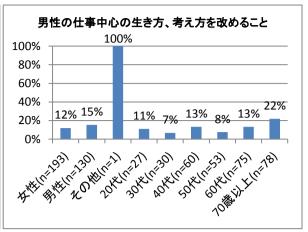


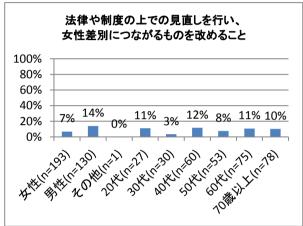


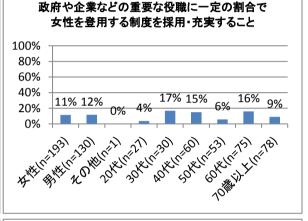


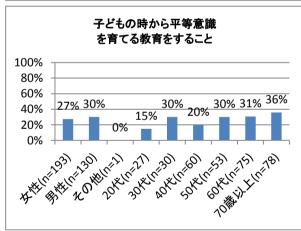
#### 【 問21 性別・年代別回答② 】※小数点第1位は四捨五入

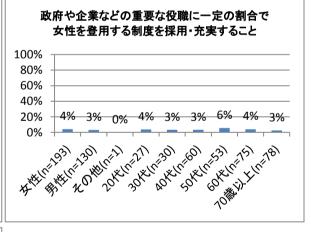


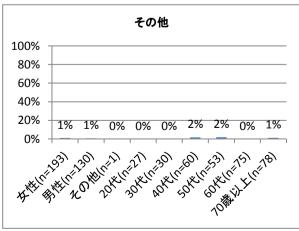






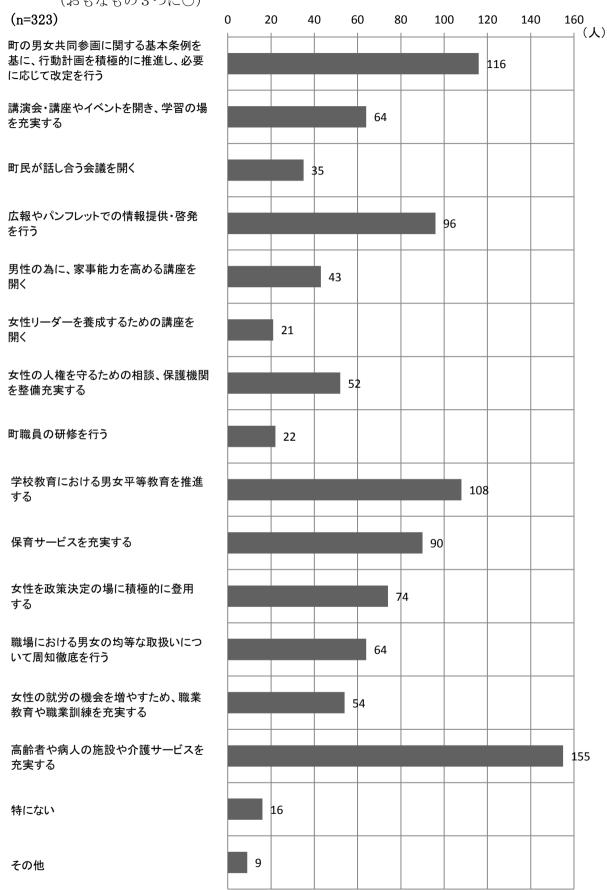




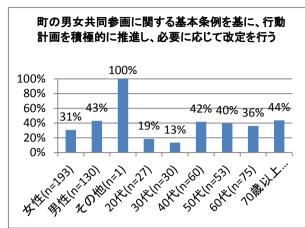


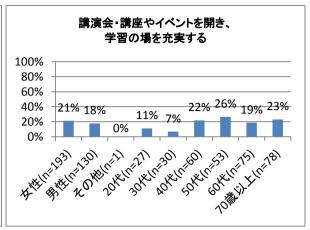
- ・この問の多くが、自立・自助努力をうたっているが、それは個人・家族・の孤立を招く恐れがある。 すべてをまかなうことはもちろん無理だが、 行政が出来ることを広く周知して、利用しやすい体制を作ることが大切では。
- 実現するとは思えない。

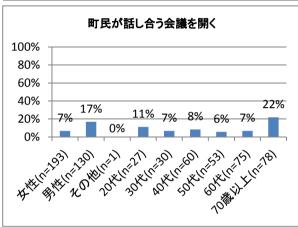
問22 内灘町は男女共同参画社会の実現のためにどのようなことに力をいれていくべきか。 (おもなもの3つに○)

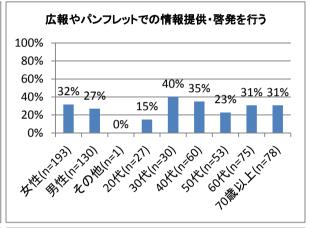


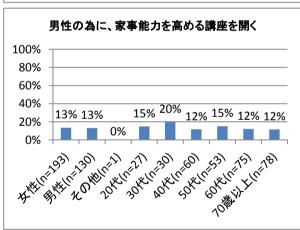
#### 【 問22 性別・年代別回答① 】※小数点第1位は四捨五入

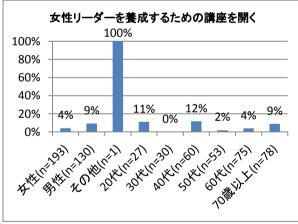


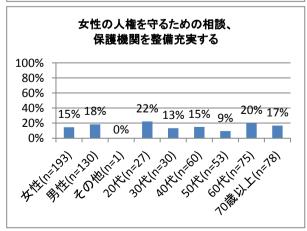


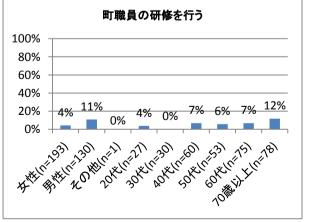




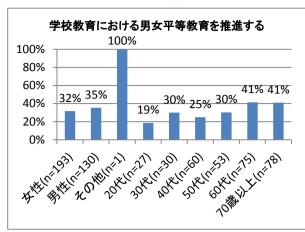


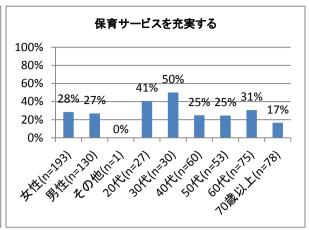


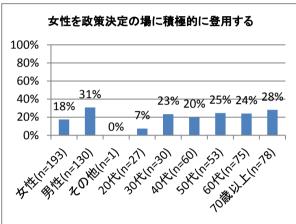


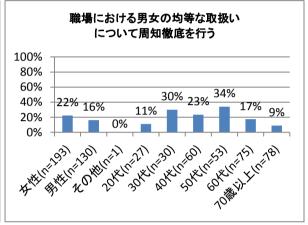


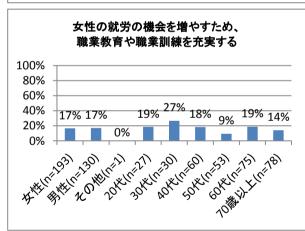
#### 【 問22 性別・年代別回答② 】※小数点第1位は四捨五入

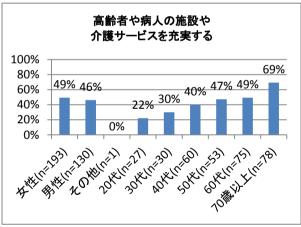


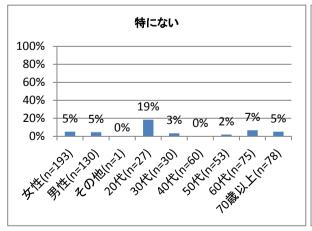


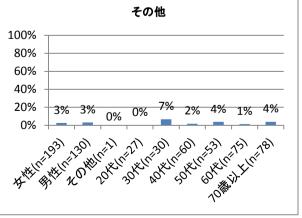












- ・ 若い働き盛りの人の意見が反映されると良いが、高齢の一部の人の意見で決まっていくことが多い。 ネットで意見を集めるなど。(会合を持たなくても)
- 男性に男女平等教育を推進する。
- ・ 上辺だけのことをしていても、結局家に帰れば家事負担90%以上の生活が待っている。
- ・ 徹底した人権意識の向上。
- ・ 高齢化の中、高齢者保護施設の拡充をはかるべき。
- ・ 高齢者が集まり易い小グループを月3~4回くらいでいいので、その場所があればいい。
- ・ 女性(家庭、子どもがいる)が仕事等に進出していくためには、夫が早く帰宅し、家事・育児を妻と同等以上にこなせることが必須です。自分の負担を増やし、家庭を犠牲にしなくてはいけないようでは、いつまでたっても変わらないと思います。
- ・ 女性、男性ともに長時間の残業を禁止し、休養時間がしっかりとれるようにする。

#### 間23 男女共同参画に関するご意見・ご要望

- ・町の東部は3代、4代に渡って付き合いがあるが、西部はそれがないので老若男女で新しい理想像を作る。
- 女性も課題解決する力が必要。意見を述べることができるようにする。
- 男女共同参画について町民すべてが内容を理解できるようにしてほしい。
- ・ 今は年老いて出かけられなくなって死を待っている老人を引っ張り出して、この社会の歴史についてどれほどのみんなの力を出し合ったかを話させ、それを聞く。そういう機会をいっぱい作って欲しい。
- 平等になるようにしたいです。
- まだまだ古いしきたりが残っている。老人と若い人とのギャップをどううめていくか考えたらと思います。
- 高齢者の日常の生活場所を与えて頂きたい。
- 町会などの会議等では、旧町内出身者の方はまだまだ男性優位の意見が多く聞かれる。町民一人一人が共同の気持ちになれるよう、啓発指導がまだまだ大変だと思う。
- 男女平等も大事ですが、低所得者への控除ばかりで、中間所得層への実態も調査して色々と考えてほしい。両方(男女)とも働いても、まともに税金や保育料なども支払い、手元に残るお金もギリギリで、その辺をなんとか考えて頂かない限り、男女平等など考える暇もありません!色々と今後に期待しています!
- 子連れで親子で楽しむイベントがあればいい。講演会・講座に参加したくても託児のようなものがないと 参加したくてもしにくい。
- まず学校教育からでは?急に男女平等に変わるのは難しいと思う。一歩ずつ。
- ・学生時代は男女平等なのに、社会に出たり結婚すると男女差があるのはなぜなのか、常々不思議に思っています。
- 正直言うと、自分が家庭をもち子どもが生まれるまでは町政に関心はあまりなかった。しかし、子育てに関する様々な手続きやサービスを知ることにより、助かることが沢山あり、同時に不満も出てきた。よく「好き」の言葉の反対語は「嫌い」ではなく「無関心」と言われるが、行政も一緒だと思う。このようなアンケートも含め、多くの人に関心を持たれる広報活動と、意見を具体化していただけるよう、自分もできることがあったら協力したいと思う。
- ・何かするにも同じ人の集まりであると思う。来ない人は来ない。必ずみんなが平等は、ありえない。ゴミ 収集はありがたい。保育料は無料にしてください。内灘役場のいいところをもっと増やしたらいいと思い ます。年寄りの楽しみを年に1回でもやってください。集める工夫を考えてほしい。
- 役場は平等ですか?窓口からみて?を感じますが。
- 全国民に平等で国際社会・現代社会に即した学習の場を充実してほしい。
- 生き物としての雄雌、個体差や各々の価値観は受け入れたり認める必要がある。しかし、「●●だから 当然△△」という言葉の背景を確認しながら、互いに尊重できる意見の集約が可能な環境を望みます。
- 男女共同参画も重要かもしれないが、町の人口を増やす、子どもを育てやすい環境を整備し、その中で 社会に貢献できる女性を生み出す営みが必要と感じる。
- 個人の意識改革はもちろんのこと、社会全体で取り組む必要がある。男性は女性に対するおごり、女性は男性に対する甘えをなくすことを今は強く意識する必要がある。
- 千鳥台には月4回午前10時~午後4時まで火曜日どなたでも参加できる家があります。食事も安く提供してくださいますし、こういう場所をもっと作るべきです。高齢者に楽しみを病人を出さないために、お願いしたいと思っています。一度見学するべきだと思います。
- 問17 パートに出ているも、自由な勤務の為、記入できません。行政共同参画の実現はなかなか難しいと思っています。古くからある地域からは思っていることも通すこともしづらいです。個人で頑張ってみたいと思います。
- 自分の周りでは、実力のある女性は評価され、実力の無い女性は評価されない。それは男も女も同じなので特に男尊女卑を感じたことはない。
- ・行政と民間が手を取り合って進めるべき事項。単なるパンフレットや広報ではだめ。経営者の意識改革が必要。
- もっと積極的にそういった計画を実行に移すべきである。
- 講演会や講座、イベントを開いて学習の場を多く持ってほしい。
- 一番は学校教育における男女平等教育の推進。成人になってからの意識づけに労力をかけるくらいなら、将来を見据えて準備するべき。男女共同参画の本質は、女性が要職につくことなのか?むしろ男だろうが女だろうが、能力のある人を評価する体制、制度にしていくことが平等なのでは?男女比は関係ないと思う。
- 実効性、拘束力のある条例の整備が必要、社会通念を改善する啓発活動が必要。
- 完全に男女平等は難しいと思う。性別を活かした社会進出が必要かと思う。
- 本当にご苦労様です。もっともっと高齢者の楽しみを作ってください。よろしくお願いします。
- 日本人は働きすぎだと思います。男性も女性も生き生きと活躍できる場を設けていくためには、現在の日本人の雇用体制、働きすぎてしまっている現状を見直していく必要があると思います!(サービス業、福祉施設事業で働いている人たちも人間です!)